

問13 自由記述欄

市政に関するご意見やご感想（96件） ※自由記述欄への回答は希望者のみとさせていただいております。

番号	年代	性別	ご意見・ご感想	担当課	回答
1	40代	女性	もっと気軽に相談出来る場所を設けてほしい。受けられるサービスについてわかりやすく説明してほしい。多くの情報を発信してほしい。	教育研究所 こども発達センター	
2	30代	女性	我孫子市は発達支援がしっかりしていてとても助けられました。これからも必要な子が必要な支援を受けられるようにしていただきたいと思います。	教育研究所 こども発達センター	
3	60代	女性	少子高齢化の中、子育て支援はとても重要なテーマかと存じます。今後、次の世代の為に興味を持っていきたいと思います。勉強不足で申し訳ありません。	教育研究所 こども発達センター	
4	80代	男性	自分の身の回りに関わりがないと限りなく知識が乏しいことが判りました。	教育研究所 こども発達センター	
5	60代	男性	大変よくやられていると思います。今後ともよろしくお願い致します。	教育研究所 こども発達センター	
6	40代	女性	個性を活かして、差別がない生活を目指してほしい。発達障害の方の接し方が分からない。	教育研究所 こども発達センター	
7	40代	男性	共生協働できる社会の実現に期待しています。	教育研究所 こども発達センター	
8	40代	女性	一つひとつは良い活動をしている所があるのに、それが連携として、線で繋がっていないと感じます。不登校についても子供の人数は少なくなっているが、減らない。大切な初期対応が学校でできていない。事なかれにならないで欲しいと思います。	教育研究所 こども発達センター	我孫子市では、一人ひとりが切れ目のない支援を受けられるよう療育・教育連絡システム連絡会を通じ、就学や進学の際に支援内容が引き継がれるよう連携システムの構築に努めています。また、長期欠席児童生徒に対しても、各小中学校に校内委員会を設け、連携に努めています。
9	30代	女性	お世話さまです。発達支援、相談がしやすい市政であると期待しております。	教育研究所 こども発達センター	
10	40代	女性	発達障害のテーマ今後も是非ともやってほしい	教育研究所 こども発達センター	
11	70代	男性	当然、教育支援等のサポートも重要であるが、発達障害への理解を深める啓蒙も重要だと考える。	教育研究所 こども発達センター	
12	40代	女性	我孫子市は比較的子育てしやすい環境だと思います。今後とも子供たちが安全で健やかに成長していけるような町になるように協力できることはしたいと思います。	教育研究所 こども発達センター	
13	50代	男性	良いテーマ設定で、街づくりにいかして下さい。	教育研究所 こども発達センター	

14	70代	男性	本件よくわからない。	教育研究所 こども発達センター	
15	30代	女性	我孫子市は子の苦手な事やそれに対しての親の相談に親身になって向き合ってくれています。今は小学校でもその様な子たちや他の子どもたちでそれぞれの得意不得意な事を理解しながら支え合って生活できている様に思います。	教育研究所 こども発達センター	
16	40代	女性	同じ幼稚園に通っていたお友達は、発達障害で発達センターにずっと通っていて、小学校は特別学級に行ったということを卒園後にご本人から聞きました。入園当初の自己紹介から通っている事を言う方もいらっしゃるし、捉え方は人それぞれなんだと感じました。将来像は人それぞれ、発達障害の種類によると思います。	教育研究所 こども発達センター	
17	30代	女性	どういう支援が受けれるとかを誰でもわかるように、広報などで周知していく方がいいと思う	教育研究所 こども発達センター	
18	40代	男性	教育機関と連携して欲しい	教育研究所 こども発達センター	
19	60代	女性	我孫子市では発達障害の子供を持つ保護者同士の組織は存在するのでしょうか。他市では保護者同士が団結して会を作り子供の交流を図りながら親同士の悩みを共有したり関係機関の方との研修を設けたりしています。励みになると聞きました。	教育研究所 こども発達センター	
20	60代	女性	障害を認めたくない保護者も沢山いらっしゃると思います。グレーゾーンとか。様子を見ましようで終わってしまうと言う方もいらっしゃるようです。なかなか相談に行きにくいと言う方もいるので、気軽に足を運べるような、そして、適切なコメント対応をしてくださる方が増えてくださるといいと思います。	教育研究所 こども発達センター	
21	30代	女性	今発達障害の子供は多く、35人学級の中に4人程が支援学級。とは別にグレーゾーンの子供も多く、支援をされないまま普通学級でトラブル。学校に発達センターが来る事がありますが、いくら生活面で困難な状況があっても学校生活での判断は主に学習面での遅れがない限り支援扱いにはしないそうです。でも発達障害は千差万別。それぞれの子供が生きやすくなるようにしっかり対応してほしいです。	教育研究所 こども発達センター	学習に課題を持つ子どもや情緒の安定に課題を持つ子ども等、必要とされる支援は個々様々です。通常学級を利用している児童生徒でも、必要に応じて保護者と学校で話し合い、個別の教育支援計画を作成し、環境調整を含めた合理的配慮をした上で安定した学校生活を送れるよう支援しています。こども発達センターでは、就学後の相談にも対応しています。
22	30代	女性	知らない事、知られていないことが多いと思います。 また、発達障害と言われる線引きも親にとってはすごく難しく、我孫子市がそんな親や子にとって住みやすい優しい街であってほしいと思います。	教育研究所 こども発達センター	

23	90代	男性	発達障害センターの職員に感謝申し上げます。頑張ってください。	教育研究所 こども発達センター	
24	70代	男性	身近に該当がないテーマでしたので、市の取り組みについてはあまり知りませんでした。	教育研究所 こども発達センター	
25	60代	女性	子育て自体はもう終わっていますが、仕事上お話を聞くことがあります。支援センターを利用するにあたって、家族が子供の状態が支援が必要か？悩んだり、受け入れない親御さんがいると聞きます。昔はこの子の個性で皆よりちょっと遅れているだけと思うこともありました。親のプライド？もあり。話の持って行き方が難しいと思います。センターを利用するとやめられない、不安がある。親御さんたちの心のケアが必要なのかと思います。	教育研究所 こども発達センター	
26	30代	男性	こんなにも、発達障害やその可能性がある子供に対して相談窓口やサービスがあることを知り、勉強になりました。	教育研究所 こども発達センター	
27	40代	女性	問12は何を尋ねているのか、そもそも尋ねる意義のある質問なのかわかりませんでした。専門学校や大学への進学も可能だという意味で02を選択しましたが、そのみを素晴らしいとか、目指すに値する将来像だとか考えているわけでもありません。発達障害の有無にかかわらず、全ての子どもが様々な選択肢（実際に実現可能となるような資源や支援を含めて）を与えられたうえで、自分の望むように進路を決めていけばよいと思います。	教育研究所 こども発達センター	発達に支援が必要な子どもに対する一般的なイメージを把握するために質問を設定しました。こども発達センターとしても、ご意見と同様の思いで、得意なことを生かして進路を決めて、社会で生き生きと生活をしていければと考えております。
28	70代	男性	教育センターなど施設を建てるのは何のため？利用と活用されなくては税金の無駄使い。広報誌などで周知徹底して広報活動しないと宝の持ち腐れに。友人。知人に聞いても市民に行き届いていない。	教育研究所 こども発達センター	
29	80代	男性	発達障害家庭に対して国、県市、等から支援の援助を強化する。民生委員や、近隣の方が良く理解して援助する。市から金銭面の援助を強化する。	教育研究所 こども発達センター	
30	50代	女性	発達障害などのある子供と、そうでない子供をわけるのではなく全て一緒に難しいかもしれないけれど、もっと共に過ごす時間を増やしていった方が良いと思う。	教育研究所 こども発達センター	
31	40代	女性	発達障害の子供らが、そうとは分からないくらいに成長できるよう、そして将来就職に困らないように、引き続きサポートをお願いします。治安維持のためにも。何と言う職種のかか知りませんが、専門の人を増やすとか、専門の人の相談窓口を土日も増やすとか、可能ならそういうところも拡充してもらえればと思います。	教育研究所 こども発達センター	

32	40代	女性	未就学の子供に対して発達センターで療育や相談が受けられるのに就学した途端打ち切れ難民状態になります。そのため保護者が学校に相談するも学校側校長を含め知識理解が乏しく心配し過ぎな親というレッテルを貼られてしまいます。発達センターから継続して児童センターを作してほしい。子供の就学後のフォローもするべきと考えます。中学校には通級クラスもなく困ります。研究所の一貫性もった学校との連携強化してほしいです。	教育研究所 こども発達センター	就学以降の小中学生については教育研究所に専門の職員が配置されており、相談をお受けしています。また、教育研究所は小中学校にアドバイザーを派遣し、巡回事業や授業観察、校内委員会の出席等を含め学校に助言指導を行うことで支援を行っています。 通級指導教室（「ことばの教室」「LD・ADHD教室」）は他校通級が基本となりますが、多忙を極める中学生活の中で、移動時間の確保も含めて定期的に授業を抜け出すことや部活動を欠席することに対する生徒自身の抵抗感が強く、通級クラスの利用希望者は全国的に激減します。我孫子市も上記の理由から中学校での通級クラスは設けておらず、学校生活に必要な支援については、個別の教育支援計画を学校と保護者で作成し支援をしています。 就学後の療育については、民間の放課後等デイサービスや医療機関が主となります。また、こども発達センターでも、就学後の相談にも対応しています。
33	60代	男性	市民に寄り添う行政サービスをお願いします。	教育研究所 こども発達センター	
34	40代	女性	悩みがあるママが気楽に連絡できるシステムがあれば	教育研究所 こども発達センター	
35	60代	男性	頑張っ下さい。	教育研究所 こども発達センター	
36	70代	女性	聞いたことは、ありますが、詳しく知らないので機会があれば学習して援護したいと思いました。	教育研究所 こども発達センター	
37	70代	男性	ボランティア依頼する	教育研究所 こども発達センター	
38	50代	女性	市のバックアップについて知らないことばかりなので一覧があれば知りたい。またどんな制度があるのか知っておきたい。子どもは健常児ではあるが何が起きるかわからないので知識として持っておきたい。	教育研究所 こども発達センター	子育てガイド「わく2すく2」（概要版）は、妊娠期から子育てにわたるまでの育児に関する情報や、市の行政サービスなどをわかりやすくまとめて紹介しています。市のホームページの『子育て情報サイト あびこで子育て』でも情報をまとめて掲載しています。 また、こういったサービスはあるか、という具体的なご質問がある場合は、子ども相談課、こども発達センター、教育研究所等にお問い合わせください。
39	60代	男性	私には子供がいませんので想像で回答しました。	教育研究所 こども発達センター	
40	30代	女性	流山高等学園のような学校が近くにあったらいいと思う。	教育研究所 こども発達センター	

41	80代	女性	問12の選択肢は不十分ですし不適切ではないでしょうか。支援を受けながらできるだけ自立できるように、それぞれに必要な教育を受け、社会参加できることが将来像ではないでしょうか？学歴をつけるか、どんな就労形態かは画一化できないでしょう。	教育研究所 こども発達センター	
42	50代	女性	たしかにどこに相談したら良いか当時は知らなかった。また相談してみようとも思わなかったように思う。また、自分の子供が該当するかもと感じたが、実際に診断がついてしまうと、その子の人生が障害者ルールで決まってしまうような気がして、積極的に医師に相談したいなどの行動には至らなかった。	教育研究所 こども発達センター	
43	40代	女性	不登校児の母です。社会に出るまでの切れ目のない支援が欲しいです。中卒でそのまま8050問題になる不安を抱えています。不登校の原因の一つは、気付きにくい発達の凸凹です。学校の先生と保護者と一般市民が共有できる発達障害のガイドブックが欲しいです。もう少し早い時期に気付いてあげて、グレーゾーンの子がバカにされないように、我孫子で社会人になれてよかったと思えるようにしたいです。	教育研究所 こども発達センター	
44	40代	女性	少し気になるな、というレベルのことを相談したいと思えない。保健師などは、乳児期の健診等で自分の育児を頭から否定されたり通り一遍の説明だけされたりで、がっかりしたりうつ状態になる。母子ともに親子ともに前向きになれる意見をくれる機関が行政区域にないものかと残念に思う。	教育研究所 こども発達センター 健康づくり支援課	
45	70代	男性	発達障害をはじめ認知症や高齢者介護など、家族だけでは手に余る問題が山積していると思われる。行政だけでは全てに対応することは不可能であり、守秘義務など法整備をした上で民間のボランティア団体をコーディネートすることも必要であると考えが如何でしょうか。	教育研究所 こども発達センター	ご意見のとおり、ご家族だけで抱え込んでしまうことで、地域で孤立したり、虐待へのリスクが上がったりということも懸念されます。そして、すべてを行政が行うことは困難です。現在も、民生委員・児童委員の方などと連携し見守り等を行っています。今後も地域との連携を大切にして業務を行っていきます。
				高齢者支援課	市だけでなく我孫子市社会福祉協議会を中心に、地域住民やNPO、福祉事業所、企業等が地域福祉課題の解決に向けて協議を行う「高齢者地域ささえあい会議・高齢者地域ささえあい活動」を行っています。また、地域のささえあいを推進する専門職として、生活支援コーディネーターを配置しており、地域で活躍するさまざまな主体と連携しながら、市や専門職だけでは解決できない地域福祉課題の解決に向けて取り組んでいます。
46	30代	女性	子供の友達など、利用している子も見かけていろいろな支援があることを知りました。我が子も今後相談予定です。相談先をアドバイスしてくれた市の子ども相談課の方にも感謝しています	教育研究所 こども発達センター 子ども相談課	

47	30代	女性	我が家は子供が実際に発達センターへ通っていました。初めての子で言葉の遅れが気になりましたが、他の子と比べてどうなのか良く分からず保育園の先生に相談したところ、発達センターを勧められました。それまで発達センターの存在は知りませんでした。知っていたらもう少し早く通えたかも。相談しないと情報がなかなか得られないため、保育園や幼稚園入学の際に全員に発達センターの利用案内を配るなどした方がいいと思いました。	こども発達センター	発達センターでは、早期発見のために、保健センターの乳幼児健診に専門職を派遣し相談を行っています。また、育児中の方が利用する施設と連携し周知に努めていますが、今後より多くの方に周知できるよう広報していきます。
48	20代	女性	実際に子供が発達センターに通っています。子供とどう関わればよいか客観的なアドバイスをいただけるのでイライラすることがかなり少なくなりました。成長がゆっくりなのも個性だと思えるようになり心が軽くなりました。子育てや発達に不安を持っている保護者の方が発達センターへ赴き気軽に相談できる環境ができればいいなと思います。子育てしてる世代への支援を引き続き手厚くお願いしたいです。	こども発達センター	ありがとうございます。引き続き、安心して子育てできるよう対応していきます。
49	40代	女性	「発達センター」というネーミングに、壁を感じる。敷居の高さを感じる。そのものズバリな、名前すぎる。分かりやすいのですが…。もう少し、柔らかな名前でも良いのではないのでしょうか？	こども発達センター	ご指摘のとおり、どのような事業を実施しているのかが分かるように「こども発達センター」という施設名としています。
50	30代	男性	保育園や幼稚園で発達が気になるお子さんがいた際に、発達障害かどうか判断がつかない場合でも、発達支援センター等の教育相談を気軽に紹介してもらえると保護者も助かると思う。(近所で発達障害ではないけど、小学校にあらがったら大変だと言われて悩んでいる保護者がいたので…)	こども発達センター	
51	40代	女性	子供が小さい頃、発育の関係で発達センターを勧められたことがあります。当時はフルタイム勤務ではとても行けるようなスケジュールではなく、せつかくの支援施設・体制があっても仕事をしていると利用できないなあという感想でした。働いていても利用しやすいようにしてほしいです。	こども発達センター	
52	30代	女性	発達センター利用していました。言葉の遅れで言語聴覚士による訓練を受けました。それに関しては満足。ただ他にも訓練した方が良さそうな件がありました。そこは出来ず…民間の療育に頼りました。もっとサービスが充実して、悩みに寄り添ってくれると嬉しい。グレーゾーンな子に対してもしっかり見てほしいと思いました。	こども発達センター	

53	40代	女性	息子の障害を保育園に指摘され、発達センターや民間療育施設に通園中。全ての機関で発達状況やどんな療育をしているか、問題点はないか等情報共有を定期的にして欲しい。親がそれぞれの機関に伝えきるのは難しい。自発的に要望を出さないとそういう場を設けてくれない。また、民間療育施設の特徴を行政が把握しておらず、何の情報もないので民間と連携して欲しい。就業の親もいるので土日に通える療育機関を増やして欲しい。	こども発達センター	
54	30代	女性	月に一回発達センターに療育に通っています。相談したいことがたくさんあるので、子どもは療育40分、親は別室で他の先生との面談40分、今日やった療育の様子など聞く時間5分みたいな感じでやっていただけたら、別の日にわざわざ相談だけ行くこともなくなるので、お願いしたいです。	こども発達センター	お子さんの療育の様子を保護者の方にも見ていただくのは、お子さんの療育している様子を共有し対応方法など相談していくことを目的としています。お時間の調整が難しい場合は、療育と相談を同日にすることも可能です。担当にご相談ください。
55	30代	女性	子どもが発達センターに通っています。質問にも丁寧に対応していただき感謝しています。また、バスも利用できてありがたいです。我孫子市にすんでいて良かったと思っています。	こども発達センター	
56	30代	女性	乳幼児検診から発達センターに紹介してもらえるの良いと思う。	こども発達センター	
57	40代	女性	子供が担任と合わず登校拒否になり、学校から教育研究所を紹介され相談させてもらいヤング手賀沼の施設にお世話になった。学校が嫌なわけではなく先生が嫌だという事で友人らと離れるのは心外だったようだが、そちらに通えば学校が出席扱いになるので子にとって少しでも気が楽になったようだ。スタッフの先生方も生徒を受け入れるのが上手だと思った。親としてもずっと家にいられるよりはとりあえずの受け皿があるのは助かった。	教育研究所	お子さんは辛い思いをされましたね。「ヤング手賀沼」は教育委員会が運営する適応指導教室で、学校に通うことが辛い小中学生の居場所として現在市内2か所で運営しています。文科省の考えとして、学校復帰が全ての不登校児童生徒のゴールではないという考え方の元、安心して通える居場所作りとして子ども一人ひとりに寄り添えるようスタッフも誠心誠意対応して参ります。
58	40代	男性	自分が小学生であった頃に比べ、各学校の特別支援クラスの数が増えている印象を受けています。それだけ児童一人ひとりに合わせた教育を実践されていると感じる一方で、以前なら特別支援クラスではなく通常のクラスでも十分教育可能であったような、やや元気の良い子も特別支援クラスに入っている様にも思えます。特別支援クラスに入る基準や仕組みについてももう少し詳しく知りたいです。	教育研究所	特別支援学級は学力だけに限らず、様々な課題を持つ児童生徒が少人数のクラスで丁寧に支援を受けることが望ましいと判断された場合に利用しています。利用までには、保護者や学校の意見、見学、体験等の過程を経て決定されます。また、特別支援学級を利用する中で、通常学級に移籍することもあります。一人ひとりの状況を見極めながら対応しています。
59	50代	男性	自分が発達障害か分からない場合が多いのではと思う、そのまま社会に出ても苦勞ををすると思うので、小中学校のうちに発達障害かどうか調べる機会があっても良いと思う。	教育研究所	

60	40代	女性	教育研究所の名称は聞いたことがあるが、湖北台東小の敷地内にあると聞いたことはあるが、どんな役割をしているのか、対象は何才までの子なのかがよくわかりません。ちょっとした相談をしたくても敷居が高いのが現状です。	教育研究所	教育研究所は、市内小中学生の保護者や児童生徒本人を対象に学校生活や教育に関すること、不登校や発達、特別支援等様々な相談について、専門の相談員が相談に応じています。まずはお気軽にお電話でご相談ください。
61	40代	男性	小学生で一部科目だけ特別支援の授業に通う場合に、東京都など他の自治体では、普通学級に籍を置き通級という形で支援を受けられるが、我孫子の場合、学籍を支援級に移さねばならず、障害の程度に応じた区分を進めている文科省の指針と明らかに相違している。是正を求めたい。	学校教育課	現在、我孫子市においても、普通学級に籍を置き通級による指導を受けられる通級教室を小学校数校に設置しております。通級教室は、その学校に籍を置く児童だけでなく、他の近隣の小学校からの他校通級も可能です。
62	30代	女性	就学前まではセンターで相談できると知っていましたが、小学生の親が相談できる場所があるのは知りませんでした。利用できるなら利用したいです。	教育研究所	教育研究所は、市内小中学生の保護者や児童生徒本人を対象に学校生活や教育に関すること、不登校や発達、特別支援等様々な相談について、専門の相談員が相談に応じています。まずはお気軽にお電話でご相談ください。
63	50代	女性	子の困難を受け入れられず立ち向かえない、相談に行けない親も多い。早めの自然なサポートで不登校等防げる場合もあると思う。診断がつかなくてもサポートがあるよう先生方にももっと知ってもらいたい。伴走してくれる人が増える事を願う。知人に不登校の子が増えているが教室に行けない子の日中の居場所が学校や校区内にあるといい。放課後に別の場所に行くのは敷居が高いのでは。各々の学びのペースが守られる事を願う。	教育研究所	我孫子市の小中学校では、特別支援や合理的配慮を受けるために発達障害等の診断名は必要ありません。全ての小中学校に特別支援コーディネーターとして担当教員を任じ、研修会や連絡会を通してスキルアップを目指しています。また、教育研究所の専門の相談員が学校を支援します。不登校支援として、教室に入れない生徒が通う場所として、中学校校内に適応指導教室を設置しています。また、市内2か所に「ヤング手賀沼」を設置し、日中学校に行けない児童生徒の居場所として運営しています。
64	40代	女性	・学校内に適応指導教室(名称は変更できませんか?)があるのはとても良い。今後は職員の配置や内容等がブラッシュアップされるとありがたいが、今後の方針はどのようになっていますか？ ・学校の相談員には相談業務にあたっての研修はないと聞きましたが、子どもからは不適切な対応も伝え聞きました。上記教室とも連携できそうですし、よりよい相談を行うための研修やスーパービジョンのような取り組みはできませんか？	教育研究所	適応指導教室の名称は各校で決定しています。また、職員配置、内容については、授業の兼ね合い等複雑な調整が必要になるため、各校が独自に運営をしています。 学校の相談員として、県から指定小学校及び全中学校に派遣されているスクールカウンセラーと、市が全小中学校に配置（現在1名欠員）している心の教室相談員がおります。両相談員とも定期的に研修会を実施しており、心の教室相談員が毎月開催している研修では外部からスーパーバイザーを招いて実施しています。お子様には不安な思いをさせてしまい申し訳ありません。今後も研鑽を重ねます。

65	50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・我孫子市に通級指導教室を設置してほしい。こどもが、困ってることを相談できたり、苦手なことを応援してもらえたら学校に行けたかも。そのための部屋があったらよかったと言うので。 ・心理を学んでいる教育者を学校に配置してほしい。 ・合理的配慮の配慮事例集を各学校に配布し、学校と家庭とで目安にすればいいと思う。 ・市内にフリースクールを設置してほしい。学び方が明らかに異なる場合に対応してほしい。 	教育研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の相談窓口として、各小中学校に心の教室相談室を設置し、相談員を配置しています。また、小学校には「ことばの教室」「LD・ADHD教室」の二種類の通級指導教室を指定校に設置し、必要と判断された児童は他校通級しています。 ・教員の心理・発達に関する知識、対応方法の向上のために、教育研究所の専門の相談員が巡回事業や授業観察、校内委員会の出席等を含め学校に助言指導を行っています。 ・合理的配慮申請については、保護者にも参考になるよう配慮事例も示したプリントを全小中学校に配布しております。 ・学校に居場所のない小中学生の日中の居場所として、教育委員会は市内2か所に適応指導教室「ヤング手賀沼」を設置しています。ここでは、子どもたちがそれぞれの課題に取り組めるよう、専門の指導員を配置しています。
66	40代	女性	<p>問12は、人それぞれ発達の程度が違うのでその他と回答したいです。</p> <p>子供に発達障害があるかもと教育研究所で検査を受けて生活のアドバイス、学校への訪問もしていただけて、不登校ぎみだったのが改善し、私も子供への接し方を考えることができとても助かりました。</p> <p>また私も発達障害があり、病院でわかったのですが、親子で検査や相談、カウンセリングができる場所があると、もっと安心できるなと感じています。</p>	教育研究所	<p>その節は、利用が改善につながったことを大変うれしく思います。</p> <p>成人の方の検査やカウンセリングは医療機関や外部の専門機関でお願いしているところですが、発達障害を起因とした生活相談等は、福祉サービスの利用を検討することがありますので、市内5か所に設置されている障害者まちかど相談室や障害福祉支援課にご相談ください。</p>
				秘書広報課	<p>選択肢の設定については、人それぞれ発達の程度が違うというのを認識した上で、あえて、その他回答を設けないこととさせていただきました。いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
67	40代	女性	<p>コロナ禍で大人もこどももお年寄りも不安や不満・ストレスを抱えています。eモニターのような一部の人を対象としたものではなく、多くの人たちの声を吸い上げる調査を行った方がよいと思います。</p>	秘書広報課	
68	30代	男性	<p>取り上げているテーマはすごく良いですが、何を聞きたいのかが明確化されていないため有益な情報に繋がらない気がします。例えば、問1で困ったときにどこに相談するか選択式になっているが、チェックしたものでも「ここまでは相談できるがこの内容は相談できない」といった悩みがあります。そういった深掘りが重要ではないでしょうか？また、HPが更新されておしゃれになったのはいいですが、改行できないのが不便です。</p>	秘書広報課	

69	50代	男性	コロナ対応で、市の動きがよく見えてこない所がある。国や県からの情報がないと動けないのはわかるが、もう少し市が動いて、情報を発信して欲しいと思います。ホームページを見ても、新しい情報もなく、色々と頑張っていると思いますが、日頃電車を使って通勤・通学しているとか、ある程度情報がないと対応できないと思います。プライバシー等で難しいでしょうが、知っていれば、対応できる事がたくさんあると思います。	秘書広報課	ご意見いただきありがとうございます。新型コロナウイルスに関する対応については、県の協力要請に基づき対応しています。また、市ホームページ、メール配信、FacebookやTwitterなどのSNSで発信しているほか、まん延防止等重点措置を実施する地域に指定された際には、防災行政無線で市長からのメッセージも発信しました。必要な対応や感染者情報などのほか、特に現在はワクチンに関連する情報が必要とされておりますので、関係課と連携し、市ホームページ、メール配信、SNSなどを通じて適時情報を発信していきます。
70	80代	男性	我孫子広報を含め、地域情報を共有出来るのは、有難い。ゆったりと生活できる田園地域としてあり続けるといいですね。	秘書広報課	
71	40代	男性	本ページが新しくなり回答しやすいです。	秘書広報課	
72	40代	女性	問2は「詳しく」と「言葉だけ」の中間(ある程度、なんとなく等)が欲しかったです。 問12の回答は、障害の種類やレベルなど個人の症状によって違ってくると思っています。今回は比較的軽度な場合を想定して02を選択しました。 息子の通う小学校(四小)では、特別支援学級が充実していると感じています。一般学級との交流も含め、症状しだいで転籍したり戻ったりと、都度対応している点など安心できます。	秘書広報課 教育研究所	
73	50代	女性	通常クラスの場合、担任教師の適正が必要と思います。	指導課	
74	40代	男性	湖北台中学について、偏差値の高い高校受験を意識した学力向上のための施策を検討していただきたい。我孫子西部と東部で学力にかなり差があるため、地域性も一因していると思われませんが教育にもっと力を入れてほしいです。	指導課	我孫子市では学習指導要領の趣旨を踏まえ、子ども達の資質・能力の育成を目指し、教育活動に取り組んでおります。各学校では、児童生徒の実態をもとに、アクティブラーニングをはじめ、主体的・対話的で深い学びをとおり、また個に応じた学習をとおりして学びの習熟に努めるなど、学力の向上を図っております。教育委員会としましても、子ども達の学力向上に向けて、教職員の指導力向上研修等を実施し、今後も学校を支援していきます。
75	50代	女性	子どもが不登校になったり生きづらさを感じたりする背景には、本人の発達の特質だけでなく、家庭環境、学校での人間関係など様々あります。日本の社会全体の課題だと思いますが、子どもに自己決定権があり、自分に責任をもち、自己肯定感を高められるような環境で子どもを育てたいです。そのため先生も親も専門家も力を合わせていけるような体制を我孫子市で作っていくことを希望します。	教育研究所	

76	40代	女性	<p>教育委員会の方、先生方いつも有難うございます。1.発達凸凹や長欠対応について、先生方に学ぶ場の提供を。学級経営負担軽減。美瑛町見学、研修（富良野市松田剛先生）2.長欠児の家庭に費用補助希望。フリースクール等は費用大。子が留守番できないと親は働けず収入減。3.教育委員会へ読み書き配慮専門家を。各種検査結果を元にITや支援法を指導。統計上1クラス2人はLD傾向。4.教育委員の選定方法と仕事を教えて下さい。</p>	<p>教育研究所</p> <p>1. 日頃より、我孫子市の教育行政にご理解、ご協力をありがとうございます。また、有益な資料のご提示もありがとうございます。ご指摘のとおり、学校教員は日々多忙を極め、働き方改革が大きな課題となっております。そのため、長時間拘束が必要になる教員向け研修を削減する方針ですが、その中でも我孫子市では特別支援コーディネーターや、特別支援学級の全担任を対象とした研修を実施し、教員の特別支援に関する知識をアップデートする取り組みを行っています。</p> <p>2. フリースクール的な位置づけとして、学校に通うことが辛い小中学生の居場所として教育委員会が市内2か所に適応指導教室「ヤング手賀沼」を運営しています。民間のフリースクールと違い、課外活動以外の費用はかかりません。安心して通える居場所作りとして子ども一人ひとりに寄り添えるようスタッフも誠心誠意対応して参ります。</p> <p>3. 市内全小学校1年生を対象に、読みにつまずきのある子どもを早期に発見し、つまずく前に苦手な部分を重点的に支援することができる教材（多層指導モデルMIM）を令和3年2学期から導入していきます。これを活用することで読み書きが苦手な児童生徒の更なる支援を目指します。</p>
				<p>教・総務課</p> <p>教育委員の選定方法については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項に基づき、委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て、任命します。また、同条第5項の規定により、委員の任命に当たっては、委員の年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないように配慮するとともに、委員のうちに保護者（親権を行う者及び未成年後見人をいう。）である者が含まれるようにしなければなりません。また、選任にあたっては、地域的なバランスを考慮し、中学校区ごとに各地域から選出するようにしています。</p> <p>教育委員の主な活動については、教育委員会会議（定例会・臨時会）における議案の審議の他、協議会への出席や学校行事への参加・視察など、幅広い活動を行っています。</p>
77	20代	女性	<p>障害を持った方への配慮やともに理解し合いながら生きていく社会を目指すためには障害のことを知り関わりを持つことが必要だと思う。我孫子にあるアピスタ図書館には障害を持った方が働くレストランがある。障害を持った方と関わりをもつ機会を増やすためにも公共の場の施設などに雇用の場が増えていけば就労と障害への理解が共に実現できると思う。</p>	<p>総務課</p>

78	70代	男性	発達障害についての理解と協力特に経営者、管理職層の人達	総務課	
79	40代	男性	何でもかんでも行政に頼り、それが至らないと行政の責任だと非難する今の風潮はおかしいと思う。	総務課	
80	40代	女性	障害者雇用枠を広げるためにも、障害者雇用を受け入れている適正な企業へは、助成金など、市から特別優遇があると良いと思う。	企業立地推進課	
81	40代	女性	魅力的な市になってほしい	企画課	
82	80代	男性	若い世代が暮らしやすい町づくり。	企画課	
83	40代	女性	手賀沼公園の遊具について、どこにでもある遊具なのが少し残念です。ダイナミックで個性のあるな遊具があるともっと活気が生まれると思います。	公園緑地課	
84	20代	女性	手賀沼の遊歩道で狭いにも関わらず、並走するランナーや自転車が多く、歩行者には迷惑。マナーを徹底してほしい。	公園緑地課	
85	80代	男性	新型コロナ感染症対策について。現在の対策のほか、市の方でコントロール可能な、図書館、近隣センター等を休止してはどうかと思う。近隣センターでは、カラオケなど色々なサークル活動が行なわれている（対策を講じているとはおもうが）。人々が集まると密になりやすい。	市民安全課 市民活動支援課 図書館	
86	70代	男性	(防災無線の音量を一定にして欲しい) アナウンスする人によって高音で発声し残響で聴きづらい。結局、市の広報メールで確認する事になる。残響の無い聴き良い音量・発声ボリュームを考えて欲しい。 (広報等に掲載の行事参加申込方法の改善) ネットでの申込可能にして欲しい。できるならQRコードを表示して欲しい。	市民安全課 秘書広報課	
87	50代	女性	成人した子供に対しての相談窓口がなさすぎる	障害福祉支援課	何らかの障害や精神疾患等がある方については、障害福祉支援課や障害者まちかど相談室にてご相談をお受けしていますが、それに該当しない方や心理的に抵抗がある方も多くいらっしゃると思います。社会福祉課の生活相談担当では、他の相談窓口に繋がりにくい方のご相談全般をお受けしていますのでご利用ください。その他、若者の職業的自立を支援するために厚生労働省が設置する支援機関として、地域若者サポートステーションがございます。必要に応じてご案内いたしますので、上記窓口にお問い合わせください。
88	60代	男性	このアンケートでは障害と表記されていますが、「害」をひらがなや「碍」を使われる企業もあります。我孫子市はどのようにお考えでしょうか？	障害福祉支援課	

89	40代	女性	我孫子市は、支援が必要な子どもや保護者に対し、就園前から手厚い支援体制を組んでいると感じています。私自身の子どもが小さかった時には、天王台のすくすく広場でたくさん遊ばせていただき、時にはスタッフの方に話を聞いていただいて本当に助かりました。大変感謝しています。	保育課	
90	30代	女性	新型コロナウイルスで支援センター等も制限が設けられ以前にも増して子育ての相談がしにくい世の中になっている。普段から自ら情報を得る努力をする人は問題ないが人から与えられた情報のみで子育てをする人達は孤独に陥りやすい。 問題を抱えている人ほど安易に相談ができない世の中なので無作為にでも行政が子育てで困っていることはないかを尋ねられる機会を作るべきだと思う。	保育課 子ども相談課	
91	40代	女性	放課後デイサービスがどこも低学年向け。高学年、中学生、高校生…と、年齢を追っても利用できる様な体制を整えて頂きたいです。年齢が上がると、定型発達の子供と差が大きくなり、居場所がなくなり、自尊心の低下、不登校に繋がります。	子ども相談課	年齢に係わらずニーズに応じた発達支援が提供されることはお子様の成長にとって大切なことと考えています。 いただいたご意見は、児童通所支援事業所や関係機関と共有し、発達支援の充実を図っていきます。
92	70代	男性	5/1からあびこ健康ポイントが開始されましたが協賛して戴ける店が少ないので協賛する店などを充実させて戴きたい。	健康づくり支援課	協賛店の充実及び承認は千葉県が実施しておりますが、今後も千葉県と協力し、市内協賛店が充実するように努めてまいります。
93	70代	男性	令和3年度の固定資産税の賦課通知書が届いた。土地の評価替えの年度であることから、新路線価を調べに行政情報資料室にお邪魔したが新路線価はなかった。パソコンで「全国地価マップ」を見ても新路線価を調べることが出来なかった。このような状況で、固定資産税を賦課するのはいかがなものかと感じています。	課税課	日頃より、市税に関しましてご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。「令和3基準年度我孫子市路線価図」につきましては、令和3年4月中には行政情報資料室へ持参し、現在公開されております。 行政情報資料室に御足労いただきました時期に公開が間に合わず、ご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。また、「一般財団法人 資産評価システム研究センター（問03-5404-7781）」が公開している「全国地価マップ」への掲載につき確認しましたところ、「令和3基準年度我孫子市路線価図」が公開されるのは令和3年7月から8月頃の予定であるとのことでしたので、もうしばらくお待ちいただきたく存じます。
94	40代	男性	企業誘致について	企業立地推進課	市では、住工混在問題の解消及び新たな企業誘致を実現するために、令和2年度に「我孫子市産業用地整備基本計画」を策定し、柴崎地区において産業用地を創出する事業を行っています。 また、新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした業務改革の一環で、都心等から市内に新たにオフィスを開設する事業者、または市内の支社等に本社機能を移転する事業者に対する「我孫子市オフィス開設等促進補助金」制度を令和3年度に創設し、市内へのオフィスの立地を促進するとともに雇用の拡大を図っています。

95	80代	男性	<p>コロナウイルスによる生活の明治維新より大きな変革が全国民を襲っています。国もデジタル庁を発足させます。市のデジタル戦略を住民と一緒に作って下さい。</p>	<p>情報政策課</p>	<p>市の情報化政策につきましては、国より示された「自治体DX推進計画」及び今夏に示される予定の「自治体DX推進手順書」を基に、マイナンバーカードの普及のように市民の皆様の協力が欠かせない事業を含め、適切に推進してまいります。</p>
96	70代	男性	<p>コロナ感染を嫌い、また足腰の不自由な買い物難民が増加していると思いますが、市として市内のスーパー等を指導して、希望する地域毎に食料品・日用品等を扱う定期移動販売車を導入する考えはありませんか。</p>	<p>高齢者支援課</p>	<p>市では、買い物弱者への対策として、市内に事業所を展開する商業施設と協力し、令和3年8月を目途に移動販売事業を実施する予定です。具体的には、生鮮品や加工品、日用品などを載せた車両で、公共施設や公園、集会場、福祉施設等を巡回します。詳細が決まりましたら、市のホームページや広報などでお知らせします。</p>